

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	令和5年度瑞穂町子ども・子育て会議（第1回）	
開 催 日 時	令和5年11月1日（水）午後6時30分から午後7時45分まで	
出席者及び 欠 席 者	【出席者】委員10名、事務局4名、子育て応援課3名 合計17名 【欠席者】委員2名	
次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 委嘱状 交付 4 委員及び事務局 自己紹介 5 会長及び副会長 互選 6 議題 (1) 子ども・子育て支援事業計画進捗状況等管理について (2) 第3期子ども・子育て支援事業計画策定に伴うニーズ調査について (3) 会議のスケジュールについて 7 その他 8 閉 会	
傍 聴 者	0名	
配 布 資 料	当日配布 ・ 次第 ・ 資料1 瑞穂町子ども・子育て会議条例 ・ 資料2 令和5年 瑞穂町子ども・子育て会議 委員名簿 ・ 資料3 委員からの事前意見等について ・ 資料4 今後のスケジュールについて	
会 議 内 容 (主な意見 等を原則と して発言順 に記載。)	1 開 会 (子育て応援課 長) 2 あいさつ 3 委嘱状交付	資料1の第7条会議の規定について、「会議は会長が招集し、議長となる」とあるが、改選しているので、一時的に代わりに事務局で進行する。 続いて、第7条第2項「会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない」とあるが、10名の委員が出席している。出席要件を満たしているということで、本日の会議は成立している。 福島福祉部長からあいさつ 委嘱状の交付

		<p>代表委員 1 名の方に交付、他の委員の皆様には、机上での交付</p>
4	委員及び事務局 自己紹介	委員及び事務局の自己紹介
		子育て応援課の保育・幼稚園係長、児童館係長及び子ども家庭支援センター係長の紹介
5	会長及び副会長互選	会長及び副会長の互選
	(子育て応援課長)	資料 1 の第 6 条会長及び副会長の規定「会議に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める」に基づき会長及び副会長の選出
	(会長)	会長あいさつ
		子どもが中心となる社会の実現を目指した形での、話し合いができるといい。
	(副会長)	副会長あいさつ
		子ども中心で、会議が進んでいくと良いと私も思う。
6	議題	<u>(1) 子ども・子育て支援事業計画進捗状況等管理</u>
		<u>について</u>
	(事務局)	はじめに、この会議について、子ども・子育て支援法第 7 2 条第 1 項の規定「市町村は条例で定めるところにより、次に掲げる事務を処理するため、審議会その他の合議制の機関を置くよう努めるものとする」とあり、この機関が瑞穂町子ども・子育て会議である。
		この会議は次の 4 つのことについて審議することになっている。
		1 つ目に、特定教育・保育施設の利用定員の設定に関するこの意見を伺う。

		<p>2つ目に、特定地域型保育事業の利用定員の設定に関するこの意見を伺う。</p> <p>3つ目に、市町村子ども・子育て支援事業計画に関するこの意見を伺う。</p> <p>4つ目に、当該市町村における子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関し必要な事項及び当該施策の実施状況を調査審議することとなっている。</p> <p>これにより、この後の議題について、審議してもらおう。</p> <p>議題1、子ども・子育て支援支援事業計画進捗進捗状況管理について、令和5年9月までの中間報告と昨年度末の報告をする。</p> <p>改選後初めての会議のため、進捗状況表の見方について説明する。</p> <p>「量の見込みと確保方策」、「計画の体系」どちらにもいえることだが、達成度が、目標を数値化して評価することによって、分かりやすくなるものだが、今現在の記載状況では、一概にそういった状況ではない方策もある。個別の状況を総合的に考慮して評価している状況である。進捗状況管理シートでは、分かりづらい部分もあるので、シートの作り方や評価の方法については、来年度、新たな計画を策定するので、より見やすく分かりやすくなるよう、研究し、一緒に考えていければいいと思っている。</p> <p>それでは事前質問等について、各課担当から回答する。</p> <p>資料3のとおり</p> <p>様々な方面から質問してもらえた。</p> <p>人材確保や、予算確保ということで、難しい問題</p>
	(事務局)	
	(事務局)	
	(会長)	

	(委員)	<p>がたくさんある中で回答してもらったと思う。</p> <p>「計画の体系」11ページ。母と子の健康づくりの推進、妊産婦への支援の中で、バースデーサポート事業を開始したとあるが、出産・子育て応援交付金のことか。</p> <p>また、「計画の体系」18ページの中学生・高校生と乳幼児との交流促進で、ジュニアリーダーの養成講座を社会教育課で行っているが、その中で、読み聞かせ事業に関わっているのもので、この本年度の夏休みに、読み聞かせをしてくれた小学校5年生から高校3年生までの子が13人ぐらいいた。子ども家庭支援センター、保育園、また図書館の3か所で、子どもたちが読み聞かせをしてくれた。いつもその読み聞かせだけで終わってしまう。ジュニアリーダーの「養成講座」なので、そこからさらに、ステップアップして、そのジュニアリーダーとして活躍する場所をしっかりと持ってもらわないと。</p> <p>今回、こどもフェスティバルで読み聞かせをしてくれた子が司会をやってくれていた。すごいな。子どもたちがかわいくて読み聞かせをしてくれたっていう子が、ものすごくたくさんの人の前で司会をやってくれて、すごく成長ができたんじゃないかとすごく嬉しく思った。</p> <p>そう思っていたら、そのジュニアリーダーの養成講座はもともとそのキャンプ等を行ってきたが、この頃はコロナウイルスの関係で泊まりがなかなかできなくて、日帰りの研修みたいな形ですごく面白いことをやってる。今年はカヤック体験を行った。</p> <p>だが、この参加者がものすごく少なかった。例年、キャンプ等だと、何十人と参加してたが、この1桁の参加者しかいなかったということで、すごくバランスが悪いなと感じた。</p> <p>せっかく行っている事業で、ここで少しずつ成長してきている子どもたちがいる中で、片や参加者が</p>
--	------	--

すごく少なくなっている。周知の仕方というのが、昔は子ども会に子どもがいっぱいいたが、今は子ども会がない地域もいっぱいあって、声をかける場所がすごく少なくなってるということももちろんある。だが、それにしても少ないと感じている。周知の仕方について、強化してもらいたい。情報の共有ということでも、意見を出した。

もう1つ、19ページの不登校児童・生徒への支援で、進捗状況の中で、不登校の要素を含む相談について、学校と連携を図り、家庭訪問等アウトリーチを実施したとあるが、アウトリーチを実施してどんな手応えだったのか知りたい。

ちょっとしたことで、学校に行けなくなる子が多くて、行き渋りしている、行きたくない、嫌だなんていう子どもを、まだ無理やり学校に連れていっているような子が何人もいて、「学校面白くないの。」と聞いたところ、「面白くない。」と言われた。何と返答していいのか分からなかった。

中には、いじめ等、汚い言葉だったり、激しい言葉だったりってものを発する子がいて、受け取る側が、今まで家庭の中でそういう言葉を全く聞いてこなかったような子どもたちであれば驚く。また、拒否反応等があるように感じており、そうすると学校に行くとあの子に何か言われてしまうかもしれないから学校に行きたくないということを親に、話すことがあるみたいだ。なので、今のうちに何とかしないと、どんどん学校に行きたくない子が増えてしまうから、学校が楽しいと思えるようにしないと今後が大変だなと思った。今、学校に行けていない子も、学校に行けるようになるといいなど、ここを読んでいて、子ども家庭支援センターではどんな手応えがあったのかを知りたいと思った。

もう1点、事前質問で、公園の防犯について、すごく汚いというか、草がぼうぼうで、何にも手が入ってない公園があるかと思うと、綺麗になってる公

		<p>園もあつたりして、公園の管理はどうなってるのかと思っていた。同じ瑞穂町の中で、同じ公園で、すごく綺麗に草が刈られていて、植木なんかも綺麗になってるところと、もう荒れ放題みたいな公園もある。荒れ放題のところは、子どもが公園で遊ぼうって思えない程汚くなっている。草がぼうぼうだと、虫もいっぱい出てくるので、綺麗にしてもらいたいなっていうのを感じた。</p> <p>1点目のバースデーサポートについて、担当は健康課だが、瑞穂町のホームページから、1歳になると行動範囲が広がるような時期で、お母さんたちお父さんたちの悩みも増えてくるような時期なので、町の方からアンケートをとり、そのアンケートに答えてくれた方へギフト券を送り、お父さんお母さんの悩みを町の方で汲み取ってその先の支援につなげていく事業である。</p> <p>2点目のジュニアリーダーについて、ジュニアリーダーを立ち上げて最初の取組が、中学生・高校生を地域にどういかにするかということで、ジュニアリーダー養成講座を行って、様々な技術を身につけてもらい、それを地域に還元していくことがコンセプトだったが、なかなか人が集まらないっていうのが実態だった。</p> <p>こどもフェスティバルの司会をしたことについては、以前もあった。だが、最近はそうでもない状況のようだ。委員のおっしゃるとおり、ジュニアリーダー養成講座をただ行って終わりにするのではなく、最終的には、例えば青少年委員をやっていたく等、大人になって瑞穂町にまだ住んでいれば、保育士や、子どもたちに関わる仕事につくような子も出てくればいい等、そんな思いで当時は行っていた。</p> <p>おっしゃるとおり、子どもが少なくなってきたと</p>
--	--	--

(事務局)

(事務局)

		<p>いうこともあると思うが、できるだけそこは引き続き行いたいという思いで、当時は私も行っていた。</p> <p>もし、中山委員から何かあれば教えて欲しい。</p>
(委員)		<p>カヤック教室を開催したが、本当に申込みがなくて、どうすれば、周知できるのかと悩んでいる。実際、子どもがいる家庭で学校のプリント等を子どもたちはちゃんと親に渡しているだろうか。</p>
(委員)		<p>学校からはよく児童館の今月のイベント等ももらっていて、確認している。</p> <p>ただ、ジュニアリーダーの養成講座については知らなかった。何年生からできるのか。</p>
(委員)		<p>5年生からである。</p>
(委員)		<p>子どもがまだ5年生になってないから知らなかったのだと思う。学校でも配るのか。</p>
(委員)		<p>学校に配布している。広報にも載せている。</p> <p>一番若い、今の子育て世帯にはどうやったら届くのか。ホームページは見ているのだろうか。</p>
(委員)		<p>ホームページがあることを知らない。</p> <p>広報に載っていることについて、妊娠中は読む時間があり、この委員の募集にも気が付いたが、子育てしていると広報を見る時間がない。知りたい情報がすぐに出てこない。ホームページも、いちいち役所のホームページを開いて、知りたい情報を探すが、結局見づらくて見つからないことが多く、もっとまとめたアクセスのしやすいサイトがあるといい。</p>
(事務局)		<p>最近では、スマホを使い検索をする方が多いと思</p>

		<p>う。スマホでも見やすいように考えていく必要があると考えている。</p> <p>また、健康課で予防接種なんかのスケジュールが組めるような、そこにも多少情報が載っている。</p> <p>そのアプリは使えていない。何かを間違えたらエラーになってしまい、その後ログインできていない。</p> <p>健康課に共有する。</p> <p>結局、母子手帳で予定も確認している。せっかくアプリをダウンロードしたのに使えない。メールだけ見ている。アプリが使いにくい。</p> <p>ホームページは本当に見にくい。</p> <p>自分が知りたい情報に行くまでに、こっちいってあっちいってそっちいって、ってもう怒りたくなる程使いづらい。</p> <p>普段、自分が目にするメディアについて、紙で確認することが多い人や、ちゃんとパソコンで検索する人、スマホを使って検索する人、SNSでしか見えない人、いろいろあると思う。</p> <p>満遍なく使っていくしかないと思う。</p> <p>これだけ多様なメディアになってくると、それぞれに掲載することが必要である。</p> <p>ただ僕は、広報をみていて、それに付随して、青色回転灯装備車両による防犯パトロール隊員について資料3の回答にあったが、11月号で、令和元年度が約460件だったのが、160件程に減ったという記事があった。すごく減ったんだなと思った。</p> <p>ただ、この中で、ごみを捨てる等は増えているのだろうか。それとも変わらないのか。変化があった</p>
	(委員2人)	
	(事務局)	
	(委員3人)	
	(委員)	
	(委員)	

		<p>のか。</p> <p>(事務局) 増減の回答が今はできない。だが、先程のような荒れた公園があれば、直接その公園名を教えて欲しい。</p> <p>(事務局) 建設課の公園係が担当しているが、東京都の公園もあり、そこはまた違う部署で管轄しているので、まず建設課の公園係に伝えてもらうことが望ましい。また、例えば何かあったときにこういう会議の場で言ってもらえれば、子育て応援課から建設課に共有することもできるので、声を上げていただくと非常に助かる。</p> <p>(委員) 目にするメディアについて、児童館に行く機会が多いが、チラシがたくさんありすぎて、どれを取ったらいいのか分からないこともある。目にする情報だけでなく、直接聞く情報の方が耳に残りやすいので、その保健師さんや、ゆりかごステーションで聞いた話はやってみようみたいな感じで、産後パパ育児等、非常に重要だと、職場に相談しようと勉強になっている。</p> <p>山形に里帰りし、いろいろめぐった中に、土曜日、日曜日子どもが遊べる施設が色々なところがあった。市が運営していて、そこに少子化の時代なのでそんなに人数は集中していない。そこでイベントの情報等、利用者に合わせた情報を適宜、教えてもらえた。先程のカヤック等も、興味を持ちそうな、該当年齢の子がいる家庭に紹介してもらえるといいと思う。</p> <p>今2歳児の担任をしているが、土日に利用できる公園等の施設がないかと聞かれて、お金を出せばボーネルンド等で遊べるが、土日に無料で遊べるところがない。この辺を全部探しているが、なかなか見当たらない。どこか、公園の施設をもっと作って欲</p>
--	--	--

	<p>(事務局)</p> <p>(子ども家庭支援センター係長)</p> <p>(会長)</p>	<p>しいと思っていたが、それを踏まえて、利用者に合わせて情報提供もあるような施設がもしあったらとても助かる。</p> <p>不登校児童・生徒への支援についての回答を子供家庭支援センターからしたい。</p> <p>不登校の要素を含む相談の手応えについて、様々な方がいるので一概に手応えがあったかというのは難しい。それぞれであるのが現状だ。</p> <p>そこは相談していく中で、何を求めている、どのような支援ができるかを一人一人、そのケースごとに対応している。</p> <p>不登校の要素も多様化していて、友達トラブルや当該家庭に、ネグレクト等問題がある場合もある。</p> <p>ここにも書いてあるとおり学校と連携を図り、「適応指導教室いぶき」につなげることもあれば、家庭に問題がある場合にどういう支援があるかを、相談員が間に入って、1つ1つ聞いて対応することもある。</p> <p>意見交換ができて、とても内容的に濃いものが出てきている。例えばバースデーサポート事業について知っているかと聞くと、多分多くの人が知らないようだということからも、本当に情報伝達がまだまだである。</p> <p>多様化する時代の中で、案内が山のようにあるため、それを全部教えるっていうのは、かえって伝わらない。かといって、ほっとくわけにはいかない状況の中では、先程のジュニアリーダーもそうだが、活躍する場面をどんどん作るという部分だけでなく、分かりやすい広報の仕方も大切だろう。ここで今話し合うときに、こういうものもあるのか、こんな悩みもあるのか、こういう考えがあるかと分かるので、やっぱり人と人とのコミュニティがやっぱり</p>
--	---	--

		<p>一番情報が伝わるように思うので、そういうのも含めた形で、また行政の方でぜひ考えてもらえればと思う。</p> <p>繰り返しにはなるが、ここで終わりではなくて、また今のことを含めて何か気になること等、様々な考えを、また、役場の方に連絡して欲しい。</p> <p><u>(2) 第3期子ども・子育て支援事業計画策定に伴うニーズ調査について</u></p> <p>議題2 ニーズ調査について、黄色い冊子の「第2期瑞穂町子ども・子育て支援事業計画」の計画の期間が、令和2年度から令和6年度までとなっている。そのため、令和7年度からを計画期間とする新たな計画を令和6年度中に策定する必要があるため、今年度は計画策定のための基礎資料として、アンケートにより住民のニーズを把握する必要がある。</p> <p>対象者は、未就学児の保護者約1,200名、小学生の保護者約1,000名を予定している。また、調査票の発送予定日は、令和5年12月下旬頃を予定している。調査票の回収は令和6年1月中旬頃を予定し、年度内に調査報告書を完成させる予定である。</p> <p>調査票項目の案ができれば、委員の皆様にお諮りする。</p> <p>(事務局)</p> <p>この後、来年に向けてアンケート調査が行われるということで、未就学、或いは小学校の方の保護者から無作為に選ばれた方々にアンケート調査をする流れだが、今の説明で分からないことや、疑問等はあるか。</p> <p>この後どんどん、計画について、提案がされていくということで、来年度は、それをもとにして、いろいろ話し合いを進めていく。</p> <p>(会長)</p>
--	--	---

	<p>(事務局)</p> <p>7 その他 (事務局)</p> <p>(会長)</p>	<p><u>(3) 会議のスケジュールについて</u></p> <p>資料4について、配布資料のとおり、令和5年度は3回、令和6年度は8回の会議を予定している。</p> <p>来年度は特に計画の策定の時期になるので、会議が多くなるが、委員の皆様にはご協力を願う。</p> <p>事務局から2件ある。</p> <p>1件目は義務教育就学児の医療費助成について。町では子どもの医療費助成を実施しているが、制度としては、乳幼児のための医療費助成、義務教育就学児のための医療費助成、高校生の年代の方のための医療費助成がある。今回報告するのは、義務教育就学児のための医療費助成についてで、今までは、通院1回につき200円の自己負担を設けていたが、今年の10月から200円の自己負担を廃止した。これにより、瑞穂町では0歳から中学生3年生までは無料で医療機関を受診できることになっている。</p> <p>次に2件目、次回の会議だが、先程の議題の中でも伝えたが、子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査があり、調査項目案ができたなら皆様にお諮りしたい。調査項目案の完成は12月上旬頃を予定しているので、日程が決まったらすぐに伝える。</p> <p>医療費の助成の件と、ニーズ調査ということで12月に第2回の調査内容の確認という項目があるがその時にいろいろと次年度に向けて、アンケートについて話し合われると思う。この点に関してはよろしいか。</p> <p>その他のことで、何かせつかくの機会なので、話をしておきたいことはあるか。</p>
--	---	---

	<p>(委員)</p> <p>(事務局)</p> <p>(会長)</p> <p>(事務局)</p>	<p>12月の調査内容の報告について、ほとんどできあがったものを、見させてもらうということで良いか。</p> <p>例えばその中で、ここはちょっとっていうような部分があったら直されるものというふうに考えているがっているか。</p> <p>12月なるべく上旬のうちに皆様にお諮りし、いただいた意見をもとに改善し、完成したものを12月末に発送しようと考えている。</p> <p>他に何かあるか。</p> <p>ニーズ調査をなぜ行うかというところ、この黄色い冊子（第2期子ども・子育て支援事業計画）は、1ページを例とすると、幼稚園のニーズがどれくらいあるのか、それから幼稚園はそのニーズを対応するための施設が幾つ、定員が何人必要なのかということ、この計画書に盛り込むためである。</p> <p>ニーズがどれくらいあって、どのぐらいの定員の確保が必要なのかというところ、そのニーズ調査を実施する。</p> <p>なので極端な話、そのニーズ量を調べるための調査だけ行えばいいということだが、そこに自由記載欄を設けることにより、様々な意見ももらえるようにしたいと思っている。基本的にはそのニーズ量を確認する調査ということなので、あれこれとその調査に入れられるかというところ、なかなか的が絞れなくなってしまうということ踏まえて進めていきたい。</p>
8	閉会	副会長からあいさつ